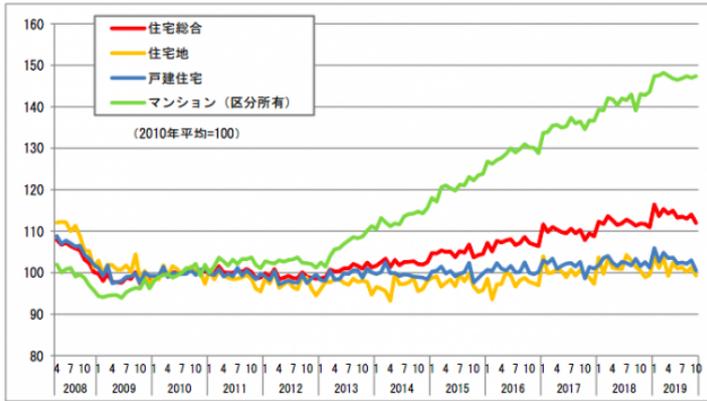




NEWSLETTER

<不動産価格指数(住宅)(令和元年10月分)> ※2010年平均=100



上昇する不動産価格指数



59ヵ月連続で住宅総合の不動産価格指数が上昇と国土交通省が公表、その中でもマンションが大きく上昇しています。不動産経済研究所が2月20日に発表した昨年の全国の新築マンション発売戸数は前年比12%減の7万660戸と43年ぶりの低水準となりました。昨年の全国マンション1戸当たりの平均価格は0.6%上昇し4787万円と73年の調査以降3年連続で最高額の更新となり、その結果購入に慎重な消費者が増え、販売会社も発売戸数を減らすなど今年も7万戸の横ばいで推移すると予測しています。特に首都圏(15.9%減)や近畿圏(13.9%減)などの落ち込みが大きく首都圏では新規に発売するよりも在庫を減らす動きが目立ちます。今後の価格の動向が注目されます。

	住宅総合		住宅地		戸建住宅		マンション(区分所有)	
	不動産価格指数(住宅)	対前年同月比(%)	不動産価格指数(住宅)	対前年同月比(%)	不動産価格指数(住宅)	対前年同月比(%)	不動産価格指数(住宅)	対前年同月比(%)
南関東圏	114.9	0.3	104.2	▲1.4	100.3	▲1.8	140.8	2.7
名古屋圏	106.7	1.7	96.8	▲2.0	102.6	3.7	150.4	5.4
京阪神圏	116.6	0.3	103.6	1.3	101.8	▲1.4	154.9	2.2



令和2年度の老齢年金額

令和2年度の老齢年金額は、昨年度から名目手取り賃金変動率0.3%からマクロ経済スライドによる調整率0.1%を引いた0.2%のプラスの改定となりました。国民年金保険料も130円上がり、16,540円となります。在職老齢年金の支給停止調整開始額は60歳からは賃金が28万円超、65歳からは47万円超と変更はありませんでした。

<https://www.mhlw.go.jp/content/12502000/000588114.pdf>

○令和2年度の新規裁定者(67歳以下の方)の年金額の例

	令和元年度(月額)	令和2年度(月額)
国民年金 (老齢基礎年金1人分満額)	65,008円	65,141円 (+133円)
厚生年金※ (夫婦2人分の老齢基礎年金を含む標準的な年金額)	220,266円	220,724円 (+458円)

※平均的な収入(平均標準報酬(賞与含む月額換算)43.9万円)で40年間就業した場合に受け取り始める老齢厚生年金と老齢基礎年金(満額)の合計



QRをスマホで読み取って下さい。

新型コロナウイルス感染症情報



厚生労働省が新型コロナウイルス感染症情報のLINE公式アカウントを開設しました。新型コロナウイルスの発生状況や予防法などの情報を確認することができます。



発行元：株式会社ライフフォースサポート
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル12F

LFS/d1911004

担当